

特定個人情報保護評価書(基礎項目評価書)

評価書番号	評価書名
55	住民基本台帳に関する事務 基礎項目評価書 (令和8年1月以降)

個人のプライバシー等の権利利益の保護の宣言

川崎市は、住民基本台帳に関する事務における特定個人情報ファイルの取扱いにあたり、特定個人情報ファイルの取扱いが個人のプライバシー等の権利利益に影響を及ぼしかねないことを認識し、特定個人情報の漏えいその他の事態を発生させるリスクを軽減させるために適切な措置を講じ、個人のプライバシー等の権利利益の保護に取り組んでいることを、ここに宣言する。

特記事項

住民基本台帳事務では、事務の一部を外部業者に委託しているため、業者選定の際に業者の情報保護管理体制を確認し、併せて秘密保持に関して契約に含めることで万全を期している。本評価書は、令和8年1月のシステム更新後の住民基本台帳事務について記載している。

評価実施機関名

神奈川県川崎市長

公表日

令和7年3月27日

I 関連情報

1. 特定個人情報ファイルを取り扱う事務	
①事務の名称	住民基本台帳に関する事務
②事務の概要	<p>市町村(特別区を含む。)(以下「市町村」という。)が住民を対象とする行政を適切に行い、また、住民の権利を保障するためには、市町村の住民に関する正確な記録が整備されていなければならない。</p> <p>住民基本台帳は、住民基本台帳法(以下「住基法」という。)に基づき、作成されるものであり、市町村における住民の届出に関する制度及びその住民たる地位を記録する各種の台帳に関する制度を一元化し、もって、住民の利便を増進するとともに行政の近代化に対処するため、住民に関する記録を正確かつ統一的に行うものであり、市町村において、住民の居住関係の公証、選挙人名簿の登録、その他住民に関する事務の処理の基礎となるものである。</p> <p>また、住基法に基づいて住民基本台帳のネットワーク化を図り、全国共通の本人確認システム(住基ネット)を都道府県と共同して構築している。</p> <p>市町村は、住基法及び行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律(以下「番号法」という。)の規定に従い、特定個人情報を以下の事務で取り扱う。(別添1参照)</p> <ol style="list-style-type: none">1 個人を単位とする住民票を世帯ごとに編成し、住民基本台帳を作成2 転入届、転居届、転出届、世帯変更届等の届出又は職権に基づく住民票の記載、消除又は記載の修正3 住民基本台帳の正確な記録を確保するための措置4 転入届に基づき住民票の記載をした際の転出元市町村に対する通知5 本人又は同一の世帯に属する者等の請求による住民票の写し等の交付6 住民票の記載事項に変更があった際の都道府県知事に対する通知7 地方公共団体情報システム機構(以下「機構」という。)への本人確認情報の照会8 住民からの請求に基づく住民票コードの変更9 個人番号の通知及び個人番号カードの交付10 個人番号カード等を用いた本人確認 <p>なお、9の「個人番号の通知及び個人番号カードの交付」に係る事務については、総務省令により機構に対する事務の一部の委任が認められている。</p> <p>そのため、当該事務においては、事務を委任する機構に対する情報の提供を含めて特定個人情報ファイルを使用する。</p>
③システムの名称	<ol style="list-style-type: none">1. 住民基本台帳システム、証明書発行システム(以下「既存住基システム」と総称する。)2. 住民基本台帳ネットワークシステム(※)3. システム連携基盤4. 電子申請システム(証明書発行システム)5. コンビニ交付システム6. 中間サーバ7. 区役所窓口システム <p>※後述の「2. 特定個人情報ファイル名」に示す「本人確認情報ファイル」及び「送付先情報ファイル」は、住民基本台帳ネットワークシステムの構成要素のうち、市町村CSにおいて管理がなされているため、以降は、住民基本台帳ネットワークシステムの内の市町村CS部分について記載する。</p>
2. 特定個人情報ファイル名	
(1)住民基本台帳ファイル (2)本人確認情報ファイル (3)送付先情報ファイル (4)証明発行用ファイル (5)窓口受付ファイル	

3. 個人番号の利用

法令上の根拠	<p>1. 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律(番号法) (平成25年5月31日法律第27号)</p> <ul style="list-style-type: none">・第7条(指定及び通知)・第16条(本人確認の措置)・第17条(個人番号カードの交付等) <p>2. 住民基本台帳法(住基法)(昭和42年7月25日法律第81号) (平成25年5月31日法律第28号施行時点)</p> <ul style="list-style-type: none">・第5条(住民基本台帳の備付け)・第6条(住民基本台帳の作成)・第7条(住民票の記載事項)・第8条(住民票の記載等)・第12条(本人等の請求に係る住民票の写し等の交付)・第12条の4(本人等の請求に係る住民票の写しの交付の特例)・第14条(住民基本台帳の正確な記録を確保するための措置)・第24条の2(個人番号カードの交付を受けている者等に関する転入届の特例)・第30条の6(市町村長から都道府県知事への本人確認情報の通知等)・第30条の10 (通知都道府県の区域内の市町村の執行機関への本人確認情報の提供)・第30条の12 (通知都道府県以外の都道府県の区域内の市町村の執行機関への本人確認情報の提供)

4. 情報提供ネットワークシステムによる情報連携

①実施の有無	<p>〔 実施する 〕</p> <p><選択肢></p> <ul style="list-style-type: none">1) 実施する2) 実施しない3) 未定
②法令上の根拠	<p>・番号法第19条第8号(特定個人情報の提供の制限)及び主務省令第2条の表 (主務省令第2条の表における情報提供の根拠) :第三欄(情報提供者)が「市町村長」の項のうち、第四欄(利用特定個人情報)に「住民票関係情報」が含まれる項(1、2、3、5、7、11、13、15、20、28、37、39、48、53、57、58、59、63、65、66、69、73、75、76、81、83、84、86、87、91、92、96、106、108、110、112、115、118、124、129、130、132、136、137、138、141、142、144、150、151、152、155、156、158、160、163、164、165、166の項)</p> <p>(主務省令第2条の表における情報照会の根拠) :なし (住民基本台帳に関する事務において情報提供ネットワークシステムによる情報照会は行わない)</p>

5. 評価実施機関における担当部署

①部署	市民文化局市民生活部戸籍住民サービス課
②所属長の役職名	戸籍住民サービス課長

6. 他の評価実施機関

—

7. 特定個人情報の開示・訂正・利用停止請求

	・市民文化局市民生活部戸籍住民サービス課
--	----------------------

請求先

住所:〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1
電話番号:044-200-2342
・総務企画局コンプライアンス推進・行政情報管理部行政情報課(情報公開担当)
住所:〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1
電話番号:044-200-2108

8. 特定個人情報ファイルの取扱いに関する問合せ

連絡先
・市民文化局市民生活部戸籍住民サービス課
住所: 〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1
電話番号: 044-200-2342

9. 規則第9条第2項の適用

[]適用した

適用した理由

II しきい値判断項目

1. 対象人数

評価対象の事務の対象人数は何人か	<p>[30万人以上] <選択肢></p> <p>1) 1,000人未満(任意実施) 2) 1,000人以上1万人未満 3) 1万人以上10万人未満 4) 10万人以上30万人未満 5) 30万人以上</p>
いつ時点の計数か	令和6年8月1日 時点

2. 取扱者数

特定個人情報ファイル取扱者数は500人以上か	<p>[500人未満] <選択肢></p> <p>1) 500人以上 2) 500人未満</p>
いつ時点の計数か	令和6年8月1日 時点

3. 重大事故

過去1年以内に、評価実施機関において特定個人情報に関する重大事故が発生したか	<p>[発生あり] <選択肢></p> <p>1) 発生あり 2) 発生なし</p>
--	--

III しきい値判断結果

しきい値判断結果

基礎項目評価及び全項目評価の実施が義務付けられる

IV リスク対策

1. 提出する特定個人情報保護評価書の種類		
[基礎項目評価書及び全項目評価書]		<選択肢> 1) 基礎項目評価書 2) 基礎項目評価書及び重点項目評価書 3) 基礎項目評価書及び全項目評価書
2)又は3)を選択した評価実施機関については、それぞれ重点項目評価書又は全項目評価書において、リスク対策の詳細が記載されている。		
2. 特定個人情報の入手(情報提供ネットワークシステムを通じた入手を除く。)		
目的外の入手が行われるリスクへの対策は十分か		[十分である] <選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
3. 特定個人情報の使用		
目的を超えた紐付け、事務に必要な情報との紐付けが行われるリスクへの対策は十分か		[十分である] <選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
権限のない者(元職員、アクセス権限のない職員等)によって不正に使用されるリスクへの対策は十分か		[特に力を入れている] <選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
4. 特定個人情報ファイルの取扱いの委託		[]委託しない
委託先における不正な使用等のリスクへの対策は十分か		[特に力を入れている] <選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
5. 特定個人情報の提供・移転(委託や情報提供ネットワークシステムを通じた提供を除く。)		[]提供・移転しない
不正な提供・移転が行われるリスクへの対策は十分か		[十分である] <選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
6. 情報提供ネットワークシステムとの接続		[○]接続しない(入手) []接続しない(提供)
目的外の入手が行われるリスクへの対策は十分か		[] <選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
不正な提供が行われるリスクへの対策は十分か		[特に力を入れている] <選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている

7. 特定個人情報の保管・消去

特定個人情報の漏えい・滅失・毀損リスクへの対策は十分か	[特に力を入れている]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
-----------------------------	-------------	---

8. 人手を介在させる作業

[]人手を介在させる作業はない

人為的ミスが発生するリスクへの対策は十分か	[十分である]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
判断の根拠	マイナンバー利用事務におけるマイナンバー登録事務に係る横断的なガイドラインを踏まえ、更新時には、本人からマイナンバーを取得し、登録されているマイナンバーに誤りがないか、確認する等、リスク対策を現場で実施しているため。	

9. 監査

実施の有無	[○] 自己点検	[] 内部監査	[○] 外部監査
-------	----------	----------	----------

10. 従業者に対する教育・啓発

従業者に対する教育・啓発	[十分に行っている]	<選択肢> 1) 特に力を入れて行っている 2) 十分に行っている 3) 十分に行っていない
--------------	------------	---

11. 最も優先度が高いと考えられる対策

[○]全項目評価又は重点項目評価を実施する

最も優先度が高いと考えられる対策	[]	<選択肢> 1) 目的外の入手が行われるリスクへの対策 2) 目的を超えた紐付け、事務に必要な情報との紐付けが行われるリスクへの対策 3) 権限のない者によって不正に使用されるリスクへの対策 4) 委託先における不正な使用等のリスクへの対策 5) 不正な提供・移転が行われるリスクへの対策(委託や情報提供ネットワークシステムを通じた提供を除く。) 6) 情報提供ネットワークシステムを通じて目的外の入手が行われるリスクへの対策 7) 情報提供ネットワークシステムを通じて不正な提供が行われるリスクへの対策 8) 特定個人情報の漏えい・滅失・毀損リスクへの対策 9) 従業者に対する教育・啓発
------------------	-----	--

当該対策は十分か【再掲】	[#NAME?]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
--------------	----------	---

判断の根拠	
-------	--

変更箇所

変更日	項目	変更前の記載	変更後の記載	提出時期	提出時期に係る説明
平成28年8月12日	I 関連情報(4. 情報提供ネットワークシステムによる情報連携 ②法令上の根拠)	<p>・番号法第19条第7号(特定個人情報の提供の制限)及び別表第二</p> <p>(別表第二における情報提供の根拠) :第三欄(情報提供者)が「市町村長」の項のうち、第四欄(特定個人情報)に「住民票関係情報」が含まれる項(1、2、3、4、6、8、9、11、16、18、20、21、23、27、30、31、34、35、37、38、39、40、42、48、53、54、57、58、59、61、62、66、67、70、77、80、84、89、91、92、94、96、101、102、103、105、106、108、111、112、113、114、116、117、120の項)</p> <p>※地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律(平成26年法律第83号)による番号法の改正を反映させた項番号を記載しています。今後、番号法別表第2の施行(平成29年1月施行予定)までの間に評価実施のタイミングによっては、番号法の改正等により項番号が変動する可能性があるため、各団体により適宜確認の上、転記ください。</p>	<p>・番号法第19条第7号(特定個人情報の提供の制限)及び別表第二</p> <p>(別表第二における情報提供の根拠) :第三欄(情報提供者)が「市町村長」の項のうち、第四欄(特定個人情報)に「住民票関係情報」が含まれる項(1、2、3、4、6、8、9、11、16、18、20、21、23、27、30、31、34、35、37、38、39、40、42、48、53、54、57、58、59、61、62、66、67、70、77、80、84、89、91、92、94、96、101、102、103、105、106、108、111、112、113、114、116、119の項)</p> <p>(別表第二における情報照会の根拠) :なし (住民基本台帳に関する事務において情報提供ネットワークシステムによる情報照会は行わない)</p>	事後	重要な変更に該当しない項目の変更であるため、事前の提出・公表が義務付けられない
平成28年8月12日	I 関連情報(5. 評価実施機関における担当部署 ①部署)	市民・こども局区政推進部戸籍住民サービス課	市民文化局市民生活部戸籍住民サービス課	事後	重要な変更に該当しない項目の変更であるため、事前の提出・公表が義務付けられない
平成28年8月12日	I 関連情報(5. 評価実施機関における担当部署 ②所属長)	小川 清	鈴木 裕次	事後	重要な変更に該当しない項目の変更であるため、事前の提出・公表が義務付けられない
平成28年8月12日	I 関連情報(7. 特定個人情報の開示・訂正・利用停止請求 請求先)	<p>・市民・こども局区政推進部戸籍住民サービス課</p> <p>〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1 電話番号:044-200-3759</p> <p>・総務局情報管理部行政情報課(情報公開担当) (以下省略)</p>	<p>・市民文化局市民生活部戸籍住民サービス課 〒210-0077 川崎市川崎区駅前本町11-2 電話番号:044-200-2342</p> <p>・総務企画局情報管理部行政情報課(情報公開担当) (以下省略)</p>	事後	重要な変更に該当しない項目の変更であるため、事前の提出・公表が義務付けられない
平成28年8月12日	I 関連情報(8. 特定個人情報ファイルの取扱いに関する問合せ 連絡先)	<p>市民・こども局区政推進部戸籍住民サービス課</p> <p>〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1 電話番号:044-200-3759</p>	<p>・市民文化局市民生活部戸籍住民サービス課 〒210-0077 川崎市川崎区駅前本町11-2 電話番号:044-200-2342</p>	事後	重要な変更に該当しない項目の変更であるため、事前の提出・公表が義務付けられない
平成28年8月12日	II しきい値判断項目(1. 対象人数 いつ時点の計数か)	平成26年12月1日時点	平成28年6月1日時点	事後	重要な変更に該当しない項目の変更であるため、事前の提出・公表が義務付けられない
平成28年8月12日	II しきい値判断項目(2. 取扱者数 いつ時点の計数か)	平成26年12月1日時点	平成28年6月1日時点	事後	重要な変更に該当しない項目の変更であるため、事前の提出・公表が義務付けられない
平成29年7月31日	I 関連情報(4. 情報提供ネットワークシステムによる情報連携 ②法令上の根拠)	<p>・番号法第19条第7号(特定個人情報の提供の制限)及び別表第一</p> <p>(別表第二における情報提供の根拠) :第三欄(情報提供者)が「市町村長」の項のうち、第四欄(特定個人情報)に「住民票関係情報」が含まれる項(1、2、3、4、6、8、9、11、16、18、20、21、23、27、30、31、34、35、37、38、39、40、42、48、53、54、57、58、59、61、62、66、67、70、77、80、84、89、91、92、94、96、101、102、103、105、106、108、111、112、113、114、116、119の項)</p> <p>(別表第二における情報照会の根拠) :なし (住民基本台帳に関する事務において情報提供ネットワークシステムによる情報照会は行わない)</p>	<p>・番号法第19条第7号(特定個人情報の提供の制限)及び別表第一</p> <p>(別表第二における情報提供の根拠) :第三欄(情報提供者)が「市町村長」の項のうち、第四欄(特定個人情報)に「住民票関係情報」が含まれる項(1、2、3、4、6、8、9、11、16、18、20、21、23、27、30、31、34、35、37、38、39、40、42、48、53、54、57、58、59、61、62、66、67、70、74、77、80、84、85の2、89、91、92、94、96、101、102、103、105、106、108、111、112、113、114、116、117、120の項)</p> <p>(別表第二における情報照会の根拠) :なし (住民基本台帳に関する事務において情報提供ネットワークシステムによる情報照会は行わない)</p>	事後	重要な変更に該当しない項目の変更であるため、事前の提出・公表が義務付けられない
平成29年7月31日	II しきい値判断項目(1. 対象人数 いつ時点の計数か)	平成28年6月1日時点	平成29年6月1日時点	事後	重要な変更に該当しない項目の変更であるため、事前の提出・公表が義務付けられない
平成29年7月31日	II しきい値判断項目(2. 取扱者数 いつ時点の計数か)	平成28年6月1日時点	平成29年6月1日時点	事後	重要な変更に該当しない項目の変更であるため、事前の提出・公表が義務付けられない
令和1年6月28日	I 関連情報(1. 特定個人情報ファイルを取り扱う事務③システムの名称)	4. 電子申請システム証明発行用窓口端末・行政サービス端末 5. コンビニ交付システム(仮称)	4. 電子申請システム証明発行用窓口端末 5. コンビニ交付システム	事後	重要な変更に該当しない項目の変更であるため、事前の提出・公表が義務付けられない
令和1年6月28日	I 関連情報(5. 評価実施機関における担当部署②所属長の役職名)	鈴木 裕次	戸籍住民サービス課長	事後	
令和1年6月28日	II しきい値判断項目(1. 対象人数 いつ時点の計数か)	平成29年6月1日 時点	平成30年12月1日 時点	事後	重要な変更に該当しない項目の変更であるため、事前の提出・公表が義務付けられない
令和1年6月28日	II しきい値判断項目(2. 取扱者数 いつ時点の計数か)	平成29年6月1日 時点	平成30年12月1日 時点	事後	重要な変更に該当しない項目の変更であるため、事前の提出・公表が義務付けられない

変更日	項目	変更前の記載	変更後の記載	提出時期	提出時期に係る説明
令和1年6月28日	II しきい値判断項目(3. 重大事故)	発生なし	発生あり	事後	
令和1年6月28日	IVリスク対策	(なし)	(様式改訂に伴い、項目を追加)	事後	
	II しきい値判断項目(1. 対象人数 いつ時点の計数か)	平成30年12月1日 時点	令和1年11月1日時点	事後	重要な変更に該当しない項目の変更であるため、事前の提出・公表が義務付けられない
	II しきい値判断項目(2. 取扱者数 いつ時点の計数か)	平成30年12月1日 時点	令和1年11月1日時点	事後	重要な変更に該当しない項目の変更であるため、事前の提出・公表が義務付けられない
令和3年2月1日	評価書名	住民基本台帳に関する事務 基礎項目評価書	住民基本台帳に関する事務 基礎項目評価書 (令和4年1月以降)	事前	
令和3年2月1日	個人のプライバシー等の権利利益の保護の宣言 特記事項	住民基本台帳事務では、事務の一部を外部業者に委託しているため、業者選定の際に業者の情報保護管理体制を確認し、併せて秘密保持に関して契約に含めることで万全を期している。	住民基本台帳事務では、事務の一部を外部業者に委託しているため、業者選定の際に業者の情報保護管理体制を確認し、併せて秘密保持に関して契約に含めることで万全を期している。 本評価書は、令和4年1月のシステム更新後の住民基本台帳事務について記載している。	事前	
令和3年2月1日	I 関連情報(1. 特定個人情報ファイルを取り扱う事務 ③システムの名称)	1. 既存住民基本台帳システム（以下「既存住基システム」という。） 2. 住民基本台帳ネットワークシステム（※） 3. システム連携基盤 4. 電子申請システム証明発行用窓口端末 5. コンビニ交付システム 6. 中間サーバー	1. 住民基本台帳システム、証明書発行システム（以下「既存住基システム」という。） 2. 住民基本台帳ネットワークシステム（※） 3. システム連携基盤 4. 電子申請システム（証明書発行システム） 5. コンビニ交付システム 6. 中間サーバー 7. 区役所窓口システム	事前	
令和3年2月1日	I 関連情報(2. 特定個人情報ファイル名)	(1)住民基本台帳ファイル (2)本人確認情報ファイル (3)送付先情報ファイル (4)証明発行用ファイル	(1)住民基本台帳ファイル (2)本人確認情報ファイル (3)送付先情報ファイル (4)証明発行用ファイル (5)窓口受付ファイル	事前	
令和3年2月1日	I 関連情報(4. 情報提供ネットワークシステムによる情報連携 ②法令上の根拠)	・番号法第19条第7号(特定個人情報の提供の制限)及び別表第二 (別表第二における情報提供の根拠) :第三欄(情報提供者)が「市町村長」の項のうち、第四欄(特定個人情報)に「住民票関係情報」が含まれる項(1、2、3、4、6、8、9、11、16、18、20、21、23、27、30、31、34、35、37、38、39、40、42、48、53、54、57、58、59、61、62、66、67、70、74、77、80、84、85の2、89、91、92、94、96、101、102、103、105、106、108、111、112、113、114、116、117、120の項) (別表第二における情報照会の根拠) :なし (住民基本台帳に関する事務において情報提供ネットワークシステムによる情報照会は行われない)	・番号法第19条第7号(特定個人情報の提供の制限)及び別表第二 (別表第二における情報提供の根拠) :第三欄(情報提供者)が「市町村長」の項のうち、第四欄(特定個人情報)に「住民票関係情報」が含まれる項(1、2、3、4、6、8、9、11、16、18、20、21、23、27、30、31、34、35、37、38、39、40、42、48、53、54、57、58、59、61、62、66、67、70、74、77、80、84、85の2、89、91、92、94、96、97、101、102、103、105、106、107、108、111、112、113、114、116、117、120の項) (別表第二における情報照会の根拠) :なし (住民基本台帳に関する事務において情報提供ネットワークシステムによる情報照会は行われない)	事後	
令和3年2月1日	II しきい値判断項目(1. 対象人数 いつ時点の計数か)	令和1年11月1日時点	令和2年12月1日時点	事後	
令和3年2月1日	II しきい値判断項目(2. 取扱者数 いつ時点の計数か)	令和1年11月1日時点	令和2年12月1日時点	事後	
令和3年2月1日	II しきい値判断項目(3. 重大事故)	発生あり	発生なし	事後	
令和3年2月1日	IV リスク対策 5. 特定個人情報の提供・移転(委託や情報提供ネットワークシステムを通じた提供を除く。)	[○] 提供・移転しない	[] 提供・移転しない	事前	
令和3年2月1日	IV リスク対策 5. 特定個人情報の提供・移転(委託や情報提供ネットワークシステムを通じた提供を除く。) 不正な提供・移転が行われるリスクへの対策は十分か	[]	[十分である]	事前	
令和3年6月28日	I 関連情報 4. 情報提供ネットワークシステムによる情報連携 ②法令上の根拠	・番号法第19条第7号(特定個人情報の提供の制限)及び別表第二	・番号法第19条第8号(特定個人情報の提供の制限)及び別表第二		5月19日に「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」が公布され、法19条が改正され9月1日施行になりました

変更日	項目	変更前の記載	変更後の記載	提出時期	提出時期に係る説明
令和6年4月18日	IIしきい値判断項目(1. 対象人數 いつ時点の計数か)	令和2年12月1日 時点	令和5年10月1日 時点	事後	重要な変更に該当しない項目の変更であるため、事前の提出・公表が義務付けられない
令和6年4月18日	IIしきい値判断項目(2. 取扱者数 いつ時点の計数か)	令和2年12月1日 時点	令和5年10月1日 時点	事後	重要な変更に該当しない項目の変更であるため、事前の提出・公表が義務付けられない
令和6年4月18日	I 関連情報(7. 特定個人情報の開示・訂正・利用停止請求 請求先)	<p>・市民文化局市民生活部戸籍住民サービス課 住所:〒210-0077 川崎市川崎区駅前本町11-2 電話番号:044-200-2342 ・総務企画局情報管理部行政情報課(情報公開担当) 住所:〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1 電話番号:044-200-2108</p>	<p>・市民文化局市民生活部戸籍住民サービス課 住所:〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1 電話番号:044-200-2342 ・総務企画局コンプライアンス・行政情報管理部行政情報課(情報公開担当) (以下省略)</p>	事後	重要な変更に該当しない項目の変更であるため、事前の提出・公表が義務付けられない
令和6年4月18日	I 関連情報(8. 特定個人情報ファイルの取扱いに関する問合せ 連絡先)	<p>・市民文化局市民生活部戸籍住民サービス課 住所:〒210-0077 川崎市川崎区駅前本町11-2 電話番号:044-200-2342</p>	<p>・市民文化局市民生活部戸籍住民サービス課 住所:〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1 電話番号:044-200-2342</p>	事後	重要な変更に該当しない項目の変更であるため、事前の提出・公表が義務付けられない
令和7年3月27日	I 関連情報(4. 情報提供ネットワークシステムによる情報連携)	<p>・番号法第19条第8号(特定個人情報の提供の制限)及び別表第二 (別表第二における情報提供の根拠) :第三欄(情報提供者)が「市町村長」の項のうち、第四欄(特定個人情報)に「住民票関係情報」が含まれる項(1、2、3、4、6、8、9、11、16、18、20、21、23、27、30、31、34、35、37、38、39、40、42、48、53、54、57、58、59、61、62、66、67、70、74、77、80、84、85の2、89、91、92、9、4、96、97、101、102、103、105、106、107、108、111、112、113、114、116、117、120の項) (別表第二における情報照会の根拠) :なし (住民基本台帳に関する事務において情報提供ネットワークシステムによる情報照会は行わない)</p>	<p>・番号法第19条第8号(特定個人情報の提供の制限)及び主務省令第2条の表 (主務省令第2条の表における情報提供の根拠) :第三欄(情報提供者)が「市町村長」の項のうち、第四欄(利用特定個人情報)に「住民票関係情報」が含まれる項(1、2、3、5、7、11、13、15、20、28、37、39、48、53、57、58、59、63、65、66、69、73、75、76、81、83、84、86、87、91、92、96、106、108、110、112、115、118、124、129、130、132、136、137、138、141、142、144、150、151、152、155、156、158、160、163、164、165、166の項) (主務省令第2条の表における情報照会の根拠) :なし (住民基本台帳に関する事務において情報提供ネットワークシステムによる情報照会は行わない)</p>	事後	重要な変更に該当しない項目の変更であるため、事前の提出・公表が義務付けられない
令和7年3月27日	IIしきい値判断項目(1. 対象人數 いつ時点の計数か)	令和5年10月1日時点	令和6年8月1日時点	事後	重要な変更に該当しない項目の変更であるため、事前の提出・公表が義務付けられない
令和7年3月27日	IIしきい値判断項目(2. 取扱者数 いつ時点の計数か)	令和5年10月1日時点	令和6年8月1日時点	事後	重要な変更に該当しない項目の変更であるため、事前の提出・公表が義務付けられない
令和7年3月27日	IIしきい値判断項目(2. 重大事故)	発生なし	発生あり	事後	
令和7年3月27日	IVリスク対策(8. 人手を介在させる作業)	—	十分である	事後	
令和7年3月27日	IVリスク対策(8. 人手を介在させる作業) 判断の根拠	—	マイナンバー利用事務におけるマイナンバー登録事務に係る横断的なガイドラインを踏まえ、更新時には、本人からマイナンバーを取得し、登録されているマイナンバーに誤りがないか、確認する等、リスク対策を現場で実施しているため。	事後	
令和7年3月27日	IVリスク対策(9. 監査)	[○]内部監査	[]内部監査	事後	特定個人情報の漏えいその他の事態を発生させるリスクを相当程度変動させるもので
令和7年3月27日	IVリスク対策(11. 最も優先度が高いと考えられる対策)	—	[○]全項目評価又は重点項目評価を実施する。	事後	